

## 町田市中心市街地整備構想検討懇談会（第2回）【要旨】

日時 2013年7月19日（木） 午後4時00分～午後6時00分

会場 町田市役所 10-3会議室

出席者 委員6名

### 【議題】

1. 今後の中心市街地整備のあり方について
2. その他

### 【主な意見】

#### ■来街者アンケートについて

- ・町田へ来る目的や交通手段、まちに感じる魅力と弱点等、町田に何を求めるか、どのようなまちになったらよいかを聞きたい。
- ・来街者と町内会、商店会の方に聞くことは違ったほうがよい。他のまちではなく町田にくる理由や逆に町田以外へ外出する理由を知りたい。
- ・来街者の属性ごとに異なるニーズを調査から知りたい。

#### ■町内会、商店街アンケートについて

- ・まちを良く知っている人達を対象にするので、まちのあるべき姿、行政と住民は何をすべきか、という事を聞きたい。
- ・商店会向けには、自分の商店街のにぎわいについての考えを聞きたい。商店主から、このようなまちにしたいという意見を聞きたい。

#### ■まちの品格、イメージ

- ・雑多なところが町田らしいと若い人は捉えている。昔から町田の中心街の通りのイメージはあまり変わっていない。
- ・民間事業者との連携でまちの美化を誘導するなど、小さな積み重ねがまちの品格を上げることに繋がるのでは。

#### ■回遊性、バリアフリー

- ・日中には高齢者が多いが、駅周辺にエスカレーターが少ないと思う。
- ・歩行者天国にして休憩場所を設けるなどの小さな工夫が回遊性を生み出すのではないか。
- ・デッキの周りは立体化しているが、中心を離れるとあまり高いビルはない。デッキレベルと地面レベルの二次元の賑わいづくりを進める事も必要ではないか。

## ■賑わい

- ・40～50年前と比べると、駅を中心の賑わいがJR町田駅側から小田急町田駅側よりに移ってきており、まちのキャパシティが小さくなっていると感じる。
- ・現在町田は若い人で賑わっているが、これが長く続くとは思っていない。さらに多彩な世代に来てもらえるようなまちにするために手を打っていききたい。下北沢、吉祥寺のように若者などにターゲットを絞ったまちにするのか、万人に受けるようなまちにするのかで、まちづくりの方向性が異なってくる。

## ■他駅との比較

- ・近隣住民は車だと南町田や港北のららぽーとへ行く人もいる。車での来街者よりも駅を利用する人への魅力のアピールを強化すべきだと思う。ただ単純に近いというだけでは、間に何かできると負けてしまうだろう。

## ■課題

- ・他の都市間競争に勝つ為に整備の課題、目標、方針を再構築する必要がある。
- ・まちがコンパクトになりすぎているので、まちを広げるのではなく機能を分散する方法を考えるべき。
- ・回遊性の創出には小さな道の歩きやすさや歩車分離対策のような様々な工夫が必要。そのためのポテンシャルがどの場所にあるのかを、来街者や商店主、行政や専門家の目で見ていく必要がある。
- ・他の地域より町田が上回っているものは何か、それを活かす方法を考えるべき。様々な面から戦略が取れると思うが、何から手をつけるのが望ましいのか優先順位を考えるべき。
- ・目標や方針は紋切り型になるが、その裏にはどのような場所や地域性、狙いをもっているのかをしっかりと議論する必要がある。
- ・まちのイメージやテーマを統合し、トータルなイメージを打ち出すべき。

## ■議論のまとめ

- ①アンケート調査では調査対象ごとに設問内容を変えながら、まちの持つポテンシャルや町田に求められているものを探っていくことが必要。
- ②様々な層にまちへ来てもらうためのハード、ソフト両面での課題、目標、方針を再検討していく必要がある。
- ③中心市街地全体で統合されたイメージのようなものをつくる必要がある。  
次回の懇談会では、アンケート調査結果やこれまでの検討を踏まえて、どのような肉付けや整理をするかを考えていきたい。

次回日程は9月19日（木） 午後4時から